

編集後記

『語研紀要』第45巻第1号をお届け致します。本誌には論文9篇、翻訳1篇の玉稿をお寄せいただきました。ご寄稿頂いた先生方に厚くお礼申し上げます。

春には、愛知教育大学名誉教授の中村正廣先生に、「ウィリアム・ギルモア・シムズとアメリカ旧南部の文学」という演題で講演をして頂きました。先生が英語で書かれた博士論文をアメリカのサウス・カロライナ大学出版局から出版される際のご苦労話も織り交ぜられ、刺激と示唆に富んだ講演内容で、大いに勉強になりました。

ところで、現在、愛知学院大学全体で、学内で発行している機関誌のデジタル化が議論されています。今年度と来年度は移行期間ということで『語研紀要』を紙ベースで発行できますが、再来年度からは電子化になる予定です。今後、そのことに備えて検討課題もいろいろ出てくるかもしれません。

更に来年度からは、日進キャンパスに加えて、名城公園キャンパスや楠元キャンパスに出向いて授業を担当される先生方が多数おられます。研究時間の確保という点で工夫を要するかもしれませんが、そのような中でも、今後ますますの投稿を切に願います次第です。

(吉井浩司郎 記)